

平成 19 年度風力発電の募集概要等について

1. 募集概要

下表のとおり、風力発電の出力区分ごとに、必要となる周波数変動対策および募集量を設定いたしました。

当社が電力を購入する場合の条件など、募集内容の詳細については、平成 19 年度風力発電募集説明会（別紙 2 参照）にあわせてお知らせいたします。

出力区分※ ¹	必要な周波数変動対策	募集量※ ²	備 考
大規模風力 (出力 2,000kW 以上)	出力変動緩和制御※ ³	70,000kW	・抽選順位に従い系統アクセス検討※⁵を実施し、系統連系候補者を決定 ・当社が購入する場合は、原則として RPS 制度における「電気」のみ購入※⁶
中規模風力 (出力 20kW 以上 2,000kW 未満)	さしろ 下げ代不足時の 発電停止※ ⁴	10,000kW	
小規模風力※ ⁷ (出力 20kW 未満)	———	—	・系統連系の協議を随時受け付け ・当社が購入する場合は、原則として RPS 制度における「電気」と「RPS クレジット」をあわせて購入※⁶

※ 1 1 連系点で接続する風力発電機の定格出力合計（既設の風力発電機も含みます）。

※ 2 新たに連系する風力発電機の定格出力の合計。

※ 3 蓄電池等の出力制御により、風力発電の出力変動を緩和していただきます。

※ 4 電力需要の少ない夜間などにおいて、それ以上電力供給量を下げることができず、需要と供給を一致させることが困難となることが想定される場合に、逆潮流（電力系統への電力流入）があるものについては、優先的に発電を停止していただきます。

※ 5 系統連系に係るさまざまな技術検討と申込者にご負担いただく工事費の算定を行います。

※ 6 R P S 制度において電気事業者に対し利用が義務付けられている「新エネルギー等電気」は、「電気」と「新エネルギー等電気相当量（R P S クレジット）」に分割して、それぞれ売買取引を行うことができます。

※ 7 小規模風力については、周波数変動対策を不要とし、当面の間、系統連系の協議を随時受け付けることといたしますが、今後の導入状況によっては受付方法を見直す場合があります。

なお、平成18年度に、技術的な検証を行うことを目的として募集した出力一定制御を行う風力発電については、本年度は募集いたしません。

2. 自家消費型風力発電の取扱いについて

逆潮流（電力系統への電力流入）のない自家消費型風力発電についても、出力変動が電力系統に与える影響は同様であることから、引き続き、上記1.の枠組みの中で取扱うことといたします。

3. 今後のスケジュール

平成19年 9月 4日	募集説明会
平成19年 9月 4日	系統アクセス検討（予備検討）の受付開始
平成19年 9月18日	系統アクセス検討（予備検討）の受付締切
平成19年11月中旬頃	系統アクセス検討（予備検討）結果の回答 抽選申込受付開始
平成19年12月中旬頃	抽選申込受付締切、抽選会 《抽選により決定した優先順位に従い、系統アクセス検討を実施》
平成20年 3月 以降	系統連系候補者決定（全候補者確定は平成20年度に入ってからの見込み）

4. 平成20年度以降の募集量について

平成20年度以降については、今後実施する連系可能量の再評価等の結果を踏まえて、改めて募集量を設定する予定としております。

また、出力一定制御を行う風力発電については、運転開始後の検証期間中に、実際に運用可能であることを確認できた場合、それ以降は系統連系の協議を随時受け付ける予定としております。

添付-1 周波数変動対策に関する技術要件(PDF ファイル)

添付-2 風力発電設備の系統アクセス検討（予備検討）申込書〔特別高圧連系〕(PDF ファイル)

添付-3 風力発電設備の系統アクセス検討（予備検討）申込書〔高圧連系〕(PDF ファイル)
以上